

三定正一 経世教言 通記 録

今日迄の経世を概略教言致し、予は之に就ては其の却て新少其地の無産階級の蔵蓄紙言論蔵蓄より御衆の信てありて予の共慮を以て極く簡單に篤道大り教言し、予は昨十二月一日に折角券り此意式方勝党は社党式直後禁止になり、此秋々は何う云ふ意味に於て我々が政党を携り、予は此は予の立場になり、たか云ふに各新らし、予割度を選らうと云ふ点より出衆し、此のやあり、予す。

而して十二月廿七日に安業の川村君日本農民連合会上君二人の名前を持ち、予は此の前の連合民方勝党を再生すべく、八團體及び海員連合等の團體に對して、景内状を出し、予は其後一月十七日大坂、中三島、公衆堂に